



多収で穂発芽とオオムギ縞萎縮病に強い 二条大麦新品種「はるか二条」

目的と特徴

- ・精麦用二条大麦の主力品種「ニシノホシ」は、発生が拡大しているオオムギ縞萎縮病ウイルスのⅢ型系統に罹病し、穂発芽し易いこと、多肥栽培では細粒が出やすく整粒収量が低下するなどの欠点があります。
- ・「ニシノホシ」並の精麦品質を持ち、多収で「ニシノホシ」の欠点を大幅に改善した品種を育成しました。

「はるか二条」は「ニシノホシ」と比較して

- ・出穂期と成熟期ともに2日程度早い。
- ・稈長は短く強稈で、倒伏性に強い。
- ・オオムギ縞萎縮病の主要なウイルス系統（Ⅰ～Ⅴ型）とうどんこ病に抵抗性がある。
- ・穂発芽性はやや難～難で、「ニシノホシ」のやや易に比べ明らかに優る。
- ・収量は約20%、整粒収量は約30%多く、極めて多収。
- ・精麦の外観品質は同程度に優れ、精麦品質は良い。
- ・原粒の蛋白質含量はやや高く、澱粉含量と食物繊維のβ-グルカン含量は同程度。



はるか二条(左)の草姿
中:ニシノホシ、右:ニシノチカラ

「はるか二条」の生育、収量、品質特性

品種名	出穂・成熟期		稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (/m ²)	縞萎縮病抵抗性			穂発芽 性	子実重 (kg/a)	対標準比 (%)
	(月・日)	(月・日)				Ⅰ型	Ⅲ型	Ⅴ型			
はるか二条	3.31	5.14	83	7.0	659	極強	極強	極強	やや難-難	62.3	123
ニシノホシ	4.02	5.16	87	7.2	605	極強	極弱	極強	やや易	51.2	100

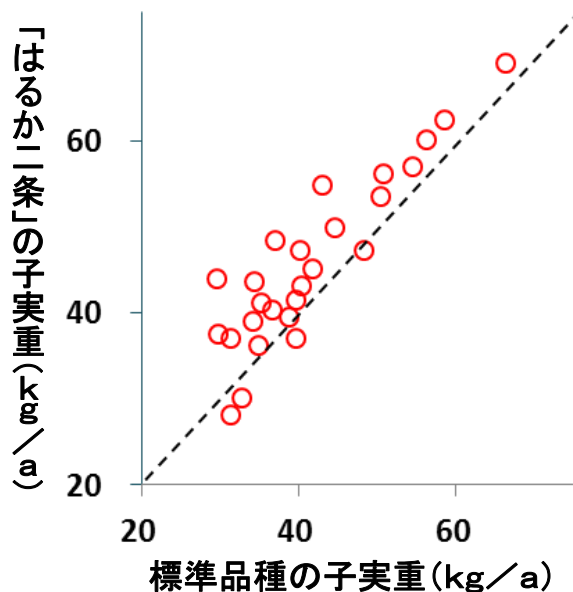
品種名	容積重 (g/L)	千粒重 (g)	外観 品質	55%搗 精時間 (分:秒)	55%搗 精白度 (%)	碎粒 率 (%)	精麦 品質	蛋白質 含量 (DM%)	澱粉 含量 (DM%)	β-グル カン含量 (DM%)
ニシノホシ	724	40.7	上下	10:49	45.2	4.3	上下	8.7	63.7	3.15

九州沖縄農研センター(筑後)、広幅播標肥栽培、2008-2011年度、蛋白質等の胚乳成分は原粒の含有量。

成果

- ・「はるか二条」は、短強稈の「羽系B0080」と短稈、多収で縞萎縮病ウイルスⅢ型系統抵抗性の「西海皮59号」との組合せから2012年に育成した精麦用の二条大麦品種です。
- ・2013年に「二条大麦農林26号」として農林認定されました。

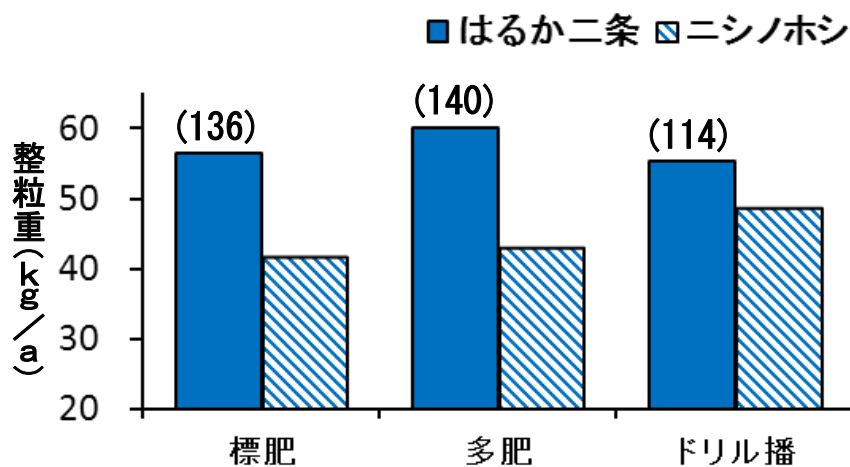
子実収量



奨励品種決定調査における「はるか二条」の収量比

2009-2011年度、9県の奨励品種決定調査における「はるか二条」と標準品種との子実収量

整粒収量



「はるか二条」の整粒収量

九州沖縄農研センター(筑後)、広幅播き標肥と多肥は2008-2011年度、ドリル播は2009-11年度。粒厚2.5mm以上の整粒重。()内は整粒重のニシノホシ比(%)

対象作物、普及対象

- ・二条大麦、温暖地～暖地の平坦地

対象農家

- ・温暖地～暖地の平坦地で精麦用の二条大麦を生産している経営

関連HP (成果情報)

<http://www.naro.affrc.go.jp/>

その他

- ・「はるか二条」は長崎県で奨励品種採用予定で普及が始まっています。また、九州地方の他県でも「ニシノホシ」に替わる主力品種として期待されます。
- ・栽培上の注意点として、赤かび病抵抗性は十分ではなく多発年にはかび毒汚染が起こりえるため、二条大麦の防除基準に従い適期防除が必要です。